



この取扱説明書は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なってもご使用になられます。また、お買い上げ商品にない機能が載ってありましたらその箇所は省いてご利用ください。

| | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | 注意 | この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

●商品の特徴

この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログソーラー電源機能搭載ウォッチです。

《ご使用になる前に》

十分に光を当てて充電してからご使用ください。

この時計には電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると表面の「**製品仕様** 5. 持続時間」の期間は充電しなくても時計は動き続けます。

《ソーラー電源機能搭載ウォッチの上手な使い方》
快適にこの時計をご使用いただくためには、余裕を持って充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)
毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

●ソーラー電源機能搭載ウォッチ取り扱いの注意

- 同じタイプでも文字板のデザインにより受光量が異なり充電時間が異なります。
- フル充電すると光を受けない状態でも持続時間内であれば、時計は正常に動き続けます。
- 時計をはずした時には、できるだけ明るい所に置くように心がけますと、時計は常に正しく時を刻み続けます。
- 長袖などで、常に光に触れない状態の時は、止まる場合がありますので、ご注意ください。

注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。
 - 例) 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所の充電。
- 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

| |
|--|
| 二次電池の交換について この時計に使われている二次電池は、充電/放電を繰り返し行えるため、一般の電池のように定期的な電池交換の必要はありません。 |
|--|

警告 二次電池の取り扱いについて

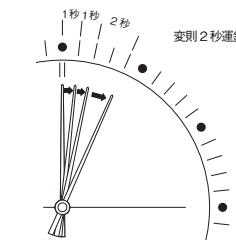
- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
- やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。

警告 指定の電池以外は使わないでください

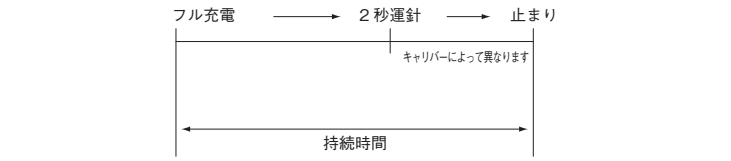
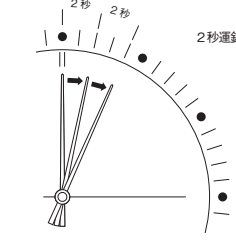
この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

●ソーラー電源機能搭載ウォッチ特有の付加機能について

- 時刻合わせ警告機能



- 充電告知機能



| |
|---|
| 充電が完了しても変則2秒運針は止まりません。 時計が止まって充電をした後は、必ず時刻合わせをしてください。時刻合わせをしない場合は、時刻合わせするまで変則2秒運針が止まりません。時刻合わせを行うと変則2秒運針は止まります。 |
|---|

- クイックスタート機能

充電が全くされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。(モデルや光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります。)ただし、この時に光をさえぎると充電が十分でないため、時計が再び停止してしまいますので、ご注意ください。

- 過充電防止機能

二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので、安心して充電ができます。

●充電時間の目安

時計のモデル（文字板の色など）によっては充電時間が異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

| キャリバーNO. | 照度(ルクス) | 環 境 | 充電時間 | | | フル充電時間からの持続時間 |
|----------|-----------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| | | | 一日分の充電時間 | 止まってから一秒運針までの充電時間 | フル充電時間 | |
| EL31 | 3,000 10,000 100,000 | 室内照明 500Lux | 40分 12分 2分 | 8時間 3時間 18分 | 130時間 40時間 11時間 | 約6ヶ月 |
| ELO1 | 3,000 10,000 100,000 | | 40分 12分 2分 | 8時間 3時間 18分 | 130時間 40時間 11時間 | 約6ヶ月 |
| EL11 | 3,000 10,000 100,000 | | 蛍光灯スタンド (15W2本の下20cm) 3,000Lux | 40分 12分 2分 | 8時間 3時間 18分 | 130時間 40時間 11時間 |
| EMO1 | 3,000 10,000 100,000 | 曇天 10,000Lux | 40分 12分 2分 | 8時間 3時間 18分 | 150時間 45時間 12時間 | 約6ヶ月 |
| EM11 | 3,000 10,000 100,000 | 曇天 夏の日の直射日光 100,000Lux | 40分 12分 2分 | 8時間 3時間 18分 | 150時間 45時間 12時間 | 約6ヶ月 |
| 8T26 | 500 3,000 10,000 100,000 | | 1時間20分 15分 5分 2分 | 5時間 50分 15分 7分 | 100時間 15時間 5時間 2.5時間 | 約2ヶ月 (約60日間) |

※充電時間は連続照射時間です。

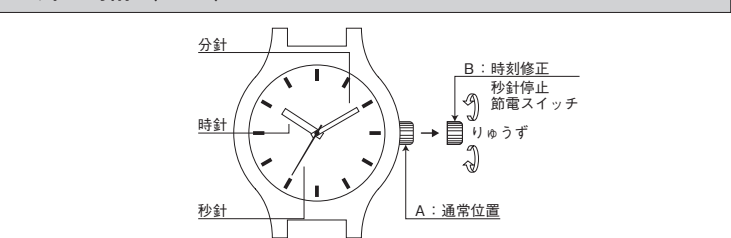
●りゅうずを完全に引いた状態で充電してください

りゅうずを押し込んだ状態でも充電はされますが、りゅうずを完全に引いた方が充電はスムーズに行われます。

●針の合わせ方

あらかじめ秒針を0秒に合わせ、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせ、時報と同時にりゅうずを押し込むと正確な時刻に合わせられます。この時、分針が若干動くことがあります但故障ではありません。(時報サービス117番で合わせると便利です。)

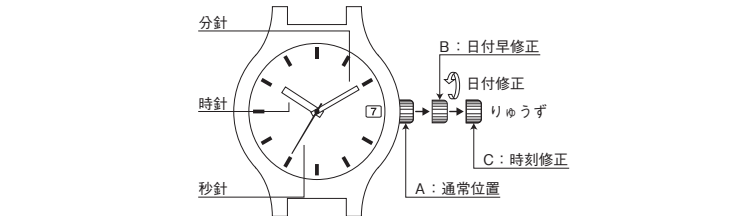
三針の時計 (EL31)



●時刻の合わせ方

- りゅうずをB（1段引き）の位置まで引き出して、時計針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。時計がスタートします。

日付のついている時計 (EL11/EM11)



●時刻・日付の合わせ方

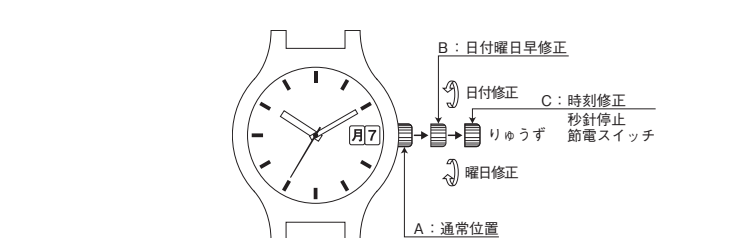
- りゅうずをC（2段引き）の位置に引き出し、午前／午後を確認のうえ、時計針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、りゅうずをB（1段引き）の位置に戻し、左に回して日付を合わせてください。
- 日付が合いましたら、りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。

午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後

| | | |
|--|--|--------------------------------------|
| | | 午前12時(真夜中の12時)：11時30分～1時の間に日付が変わります。 |
| | | 午後12時(お昼の12時)：日付は変わりません。 |

曜日・日付のついている時計 (EL01/EM01)



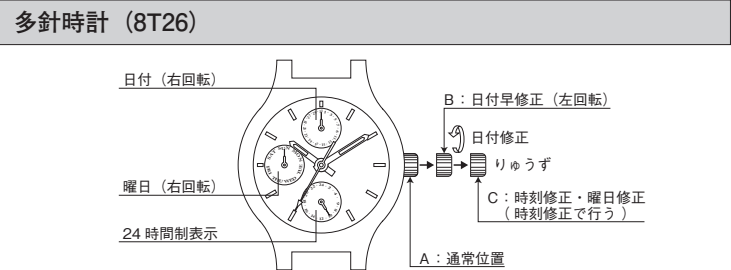
●時刻・曜日・日付の合わせ方

- りゅうずをC（2段引き）の位置に引き出し、午前／午後を確認のうえ、時計針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、りゅうずをB（1段引き）の位置に戻し、右に回して曜日を修正、左に回して日付を合わせてください。
- 曜日・日付が合いましたら、りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。

午後9時～午前4時30分までは曜日・日付の修正はしないでください。曜日、日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。曜日、日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後

| | | |
|--|--|--------------------------------------|
| | | 午前12時(真夜中の12時)：11時30分～1時の間に日付が変わります。 |
| | | 午後12時(お昼の12時)：日付は変わりません。 |



●時刻・曜日・日付の合わせ方

- りゅうずをC（2段引き）の位置に引き出し、りゅうずを回して曜日を合わせてください。午前12時～午前4時30分の間に曜日針は動きます。曜日針が本日の曜日を指すまで回してください。
- 曜日が合いましたら、午前／午後を確認のうえ、時計針・分針で時刻合わせをしてください。
- 曜日・時刻が合いましたら、りゅうずをB（1段引き）の位置にしてりゅうずを回して日付針が本日の日付を指すまで回してください。
- すべての針合わせが済みましたら、りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。

午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。